

東本瑞見  
異魚圖纂  
勢海百鱗

7  
262

別圖

孫伊集院將軍之師 啓

尾張伊集院  
孫伊集院

錦粟百珍之一  
錦粟百珍之一  
永世保存  
門外

別11  
30

異魚圖纂・勢海百鱗 1冊 寄別11-30 00-001

国立国会図書館







伊藤大郎記

魚仙傳八君辰行自筆

異魚圖纂

栗瑞文庫

栗瑞著述  
魚仙筆

伊藤大郎記

栗瑞

栗瑞

栗瑞

尾張伊藤

永世保存  
錦窠物産庫  
示出門外

魚譜

卷之

說

水主堂







魚譜

卷之

水産堂

ヤマメ  
 此和訓ハ  
 山アメノ下略也  
 本邦ニテハ山江  
 鮭ト書テ通用ス鮭ノ種  
 類ニテ小ナルモノナリ鱒ノ方ヘハ  
 遠シ惣身ニ花紋班点アルモノト  
 別種乎



キツレツホ  
 此蓋ヤマメノ類



魚譜

卷之

水産堂



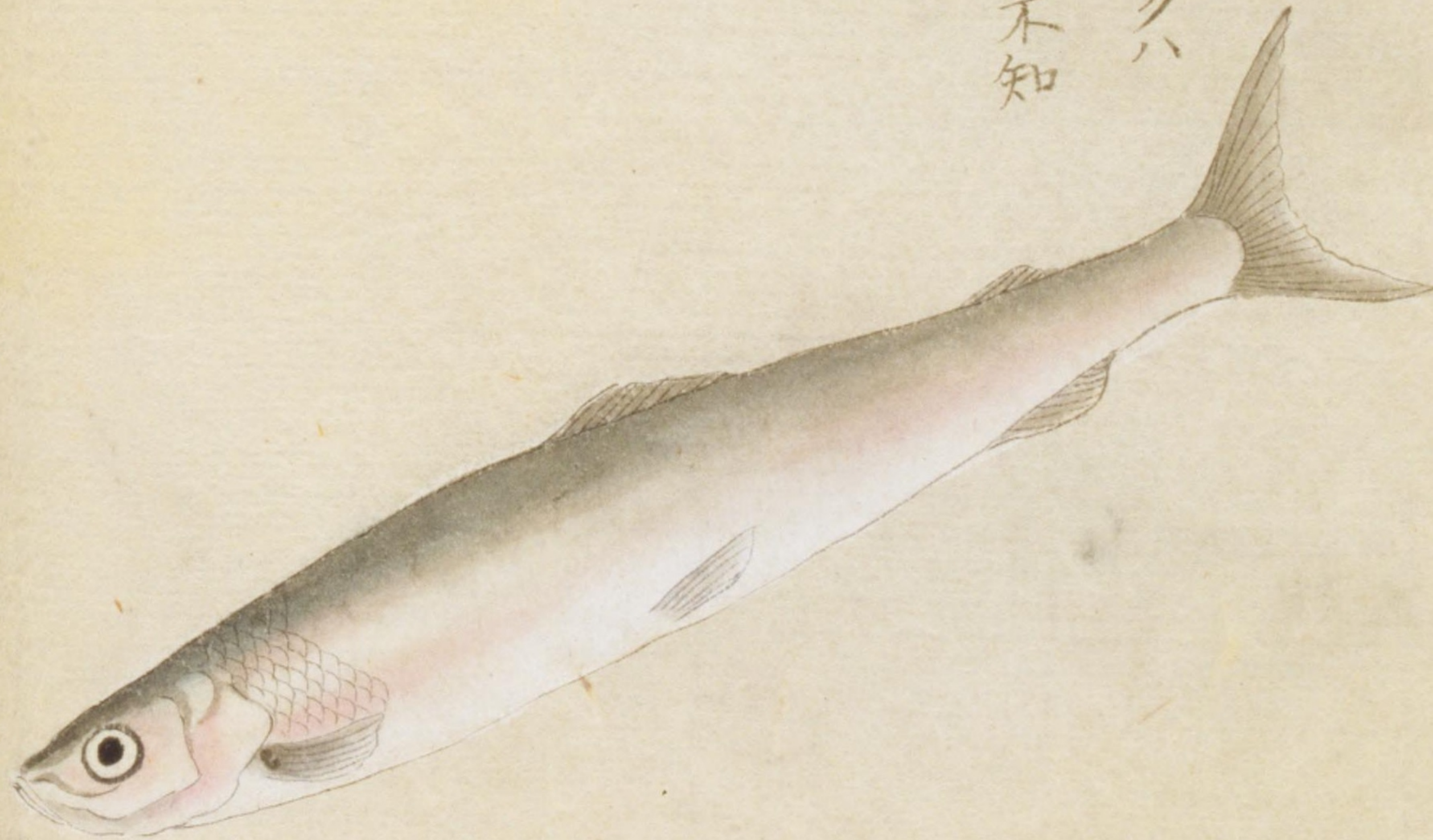




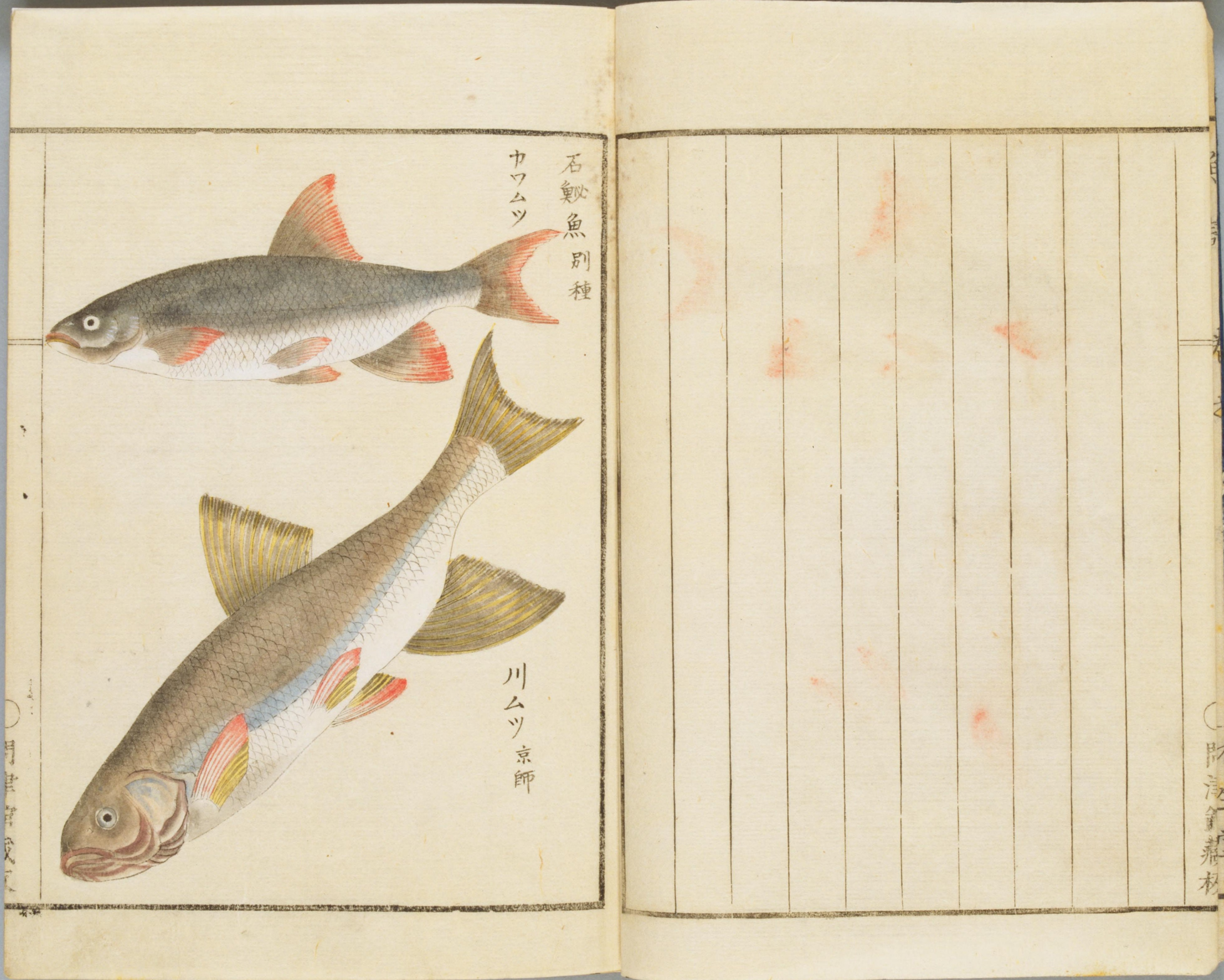
ヒカイ

油ヒカイ

千カ  
箱館海岸ニ漁シ得ル所ナリ味至テ  
淡シ此魚小魚ナレモ形鮭ノ趣アリ疑クハ  
鮭ノ小ナルトキカ未其然ルヤ否ヤヲ不知







石鯽魚別種  
カワムツ

川ムツ  
京師

勢海百鱗







戊寅五月十一日写

魚鱗百勢

魚鱗百勢

異魚図纂・勢海百鱗 1冊 寄別11-30 00-006

国立国会図書館







鱒魚 花鏡

錢引魚

五雜組

花魚

彙苑詳注

班魚

泉州府志

文魚

花鏡

オヒカハ

京師

シヤチ

伊賀伊勢

アカマツ

勢州兼名丹波

ヒヤロク

下總

ガラ

勢州兼名松坂

アカマツ

石州

アサデ

筑后

ヤマハ

筑前福岡

アカハ

筑紫

アサシ

同和州丹波

ゲゾ子

江戸関口下江戸ノ方言

イワナ

同王子川

アカハラ

王子

カハラ

丹波

日光溪流

三テトル

イワナト云

横ハラニ

班紋アリテ

美ナリヤ

キホシニ

遠ニ寄

又江戸

王子川

ノモノト

異ナル

ナレ或云

是白ハ

ヤノ雄

ナリト去ナカラ

四五月ノ

頃大

腹ノモノ

鯰鮠

肚中ニ

満ルモノ

アリコレヲ

ミレハ雄トモ云

シ

水府産方言

イカリ



ワカサキ



ナモト

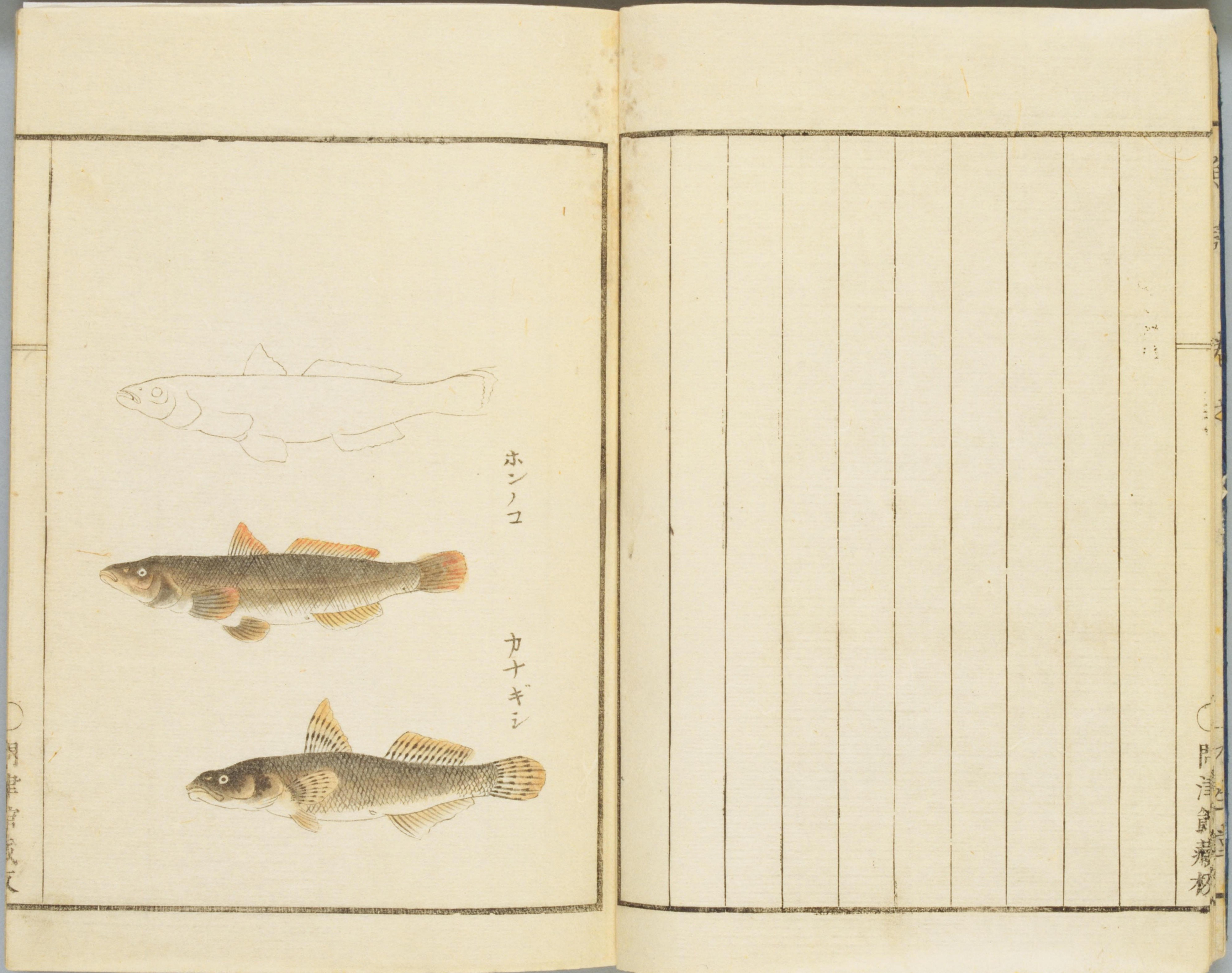
コモツキ



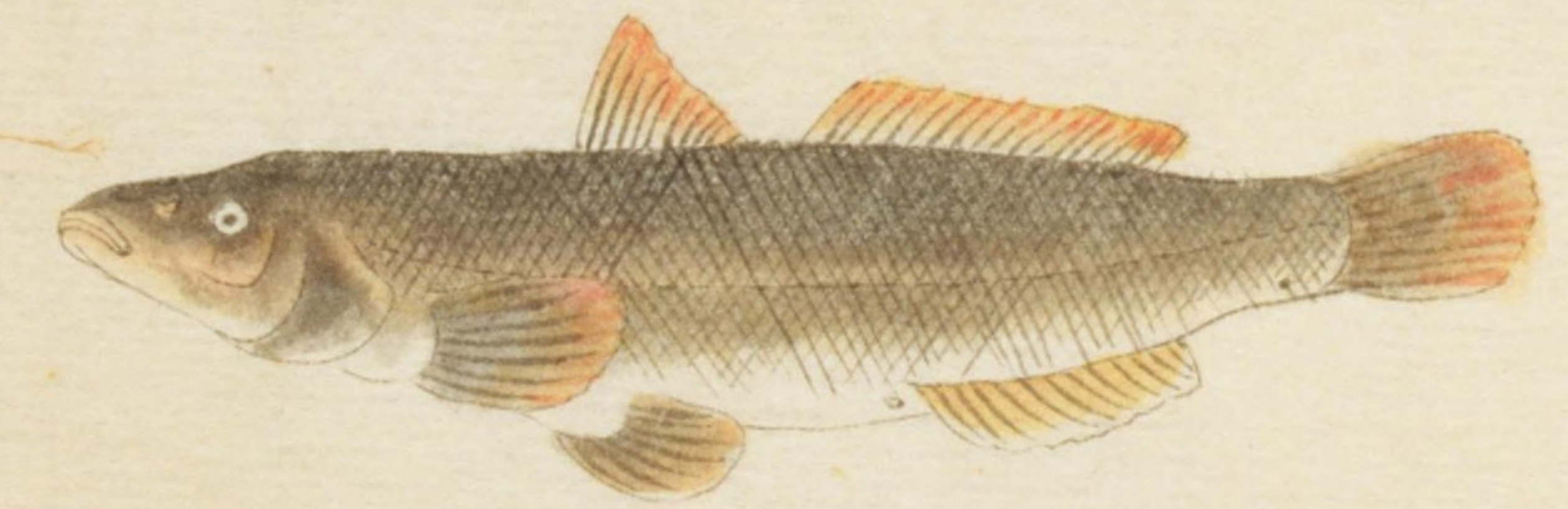
月津宮蔵







ホシノコ



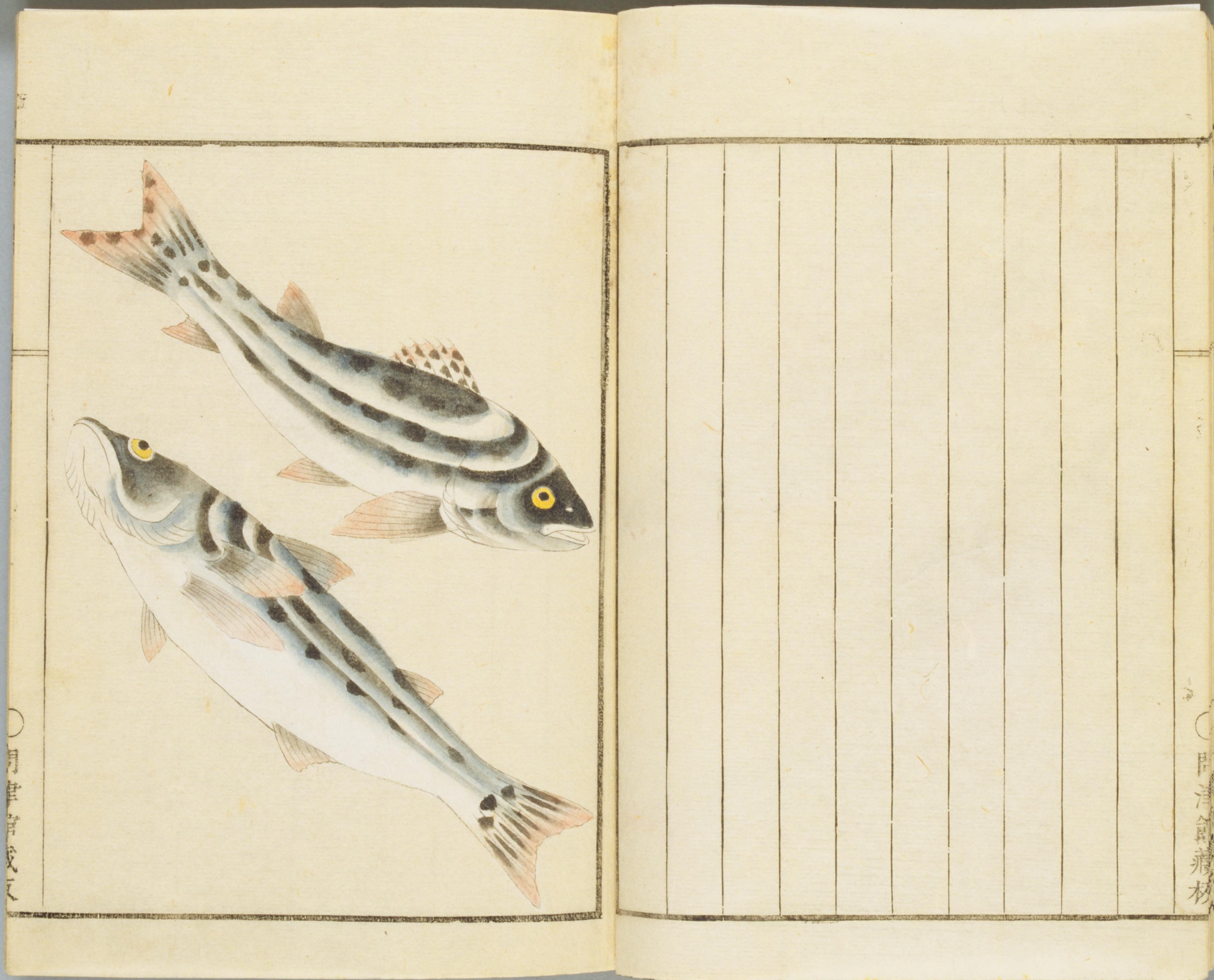
カナギシ



異魚図纂







魚名

魚名

異魚図纂・勢海百鱗 1冊 寄別11-30 00-009

国立国会図書館





チンナラ

豆州伊東和田村ノ山麓ニ温泉アリ其湯本ノ河中ニ種ノ魚ヲ産ス  
其状溪流水中ニ見馴サル魚ニメ海魚トモ云ベキ物ナリ其流水半分ハ  
山上ヨリ落下ル極テ清冷水ニメ相雜ラス其中間ニ此魚アルヲ奇トス  
未年四月六日狩野狼川院此地ニ湯治セシ時親ク親テ手寫セルモノ  
即是ナリ帰府ノ上予借テ写サシテ乞フニ不日自寫ミテ贈ラル

ヒツウオ 丹波龜山保津川産  
形鯰魚ノ児ノ如シヒケ四條上唇ニアリ  
ハラニ尖刺アルヒレアリ

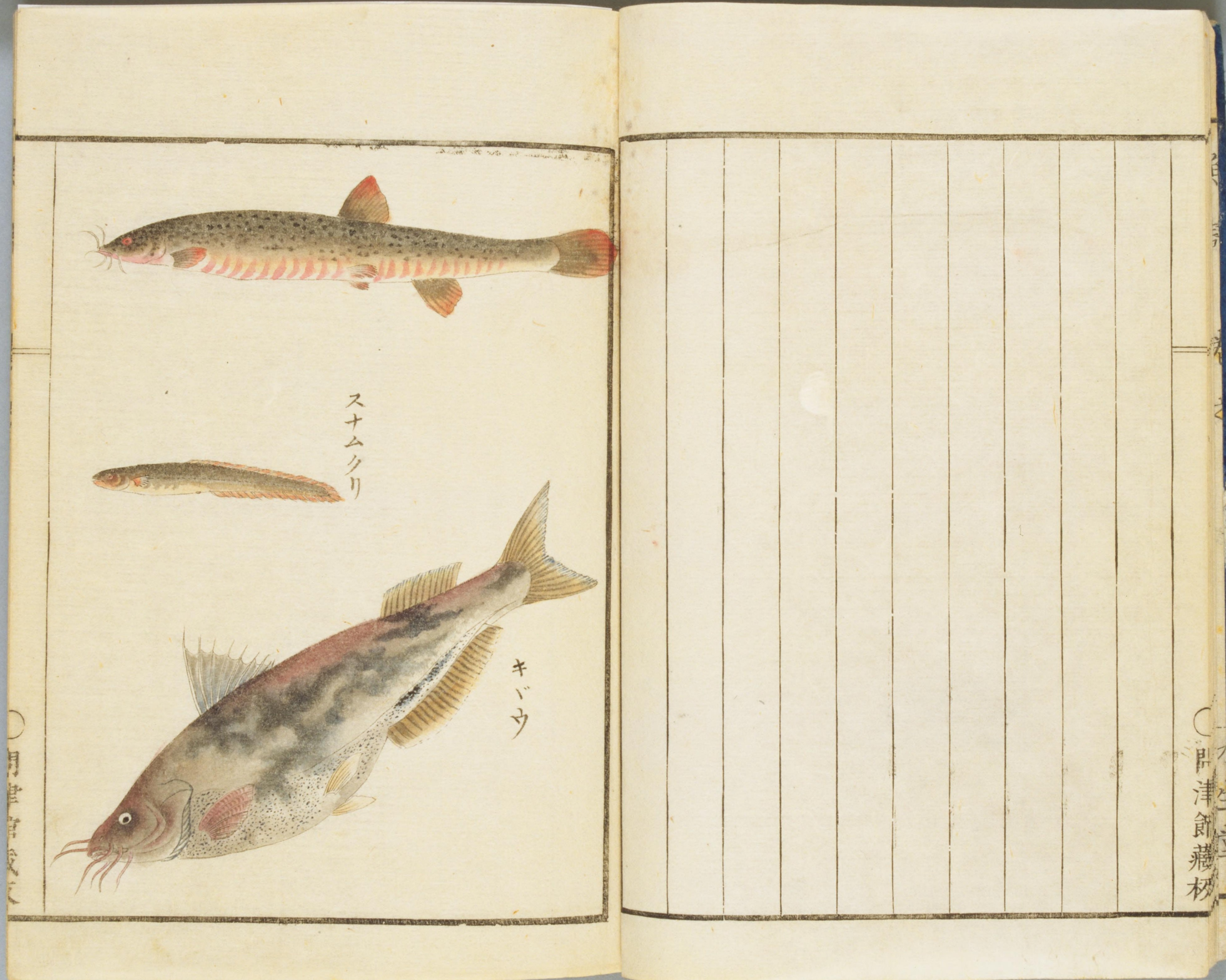


月世宮文

月世宮文







スナムクリ

キバウ

津館蔵

異魚図纂・勢海百鱗 1冊 寄別11-30 00-011

国立国会図書館







男爵伊藤圭介先生自筆  
AUTOGRAPH OF  
BARON KEISUKE ITO.

手ノ如キヒレノウラノ方アサキロハ常ノハゼニ比スレバ至テ小シ齒モ至テ細シ目ハ  
頂角ニアリ甚近ク並ヒ出ツル一疣子ノ如ク黒シ猴ノ目ノ如シ



倭名護紫又名護紫鶴魯並筑石久留米及柳川方言也大六七寸形似河鹿  
而細長立鱗淡黑色有細青點其背近尾處有黑斑兩股鱗如鼈手能離水  
跳而上陸亦其情態如鼈見人影則驚跳而入水性甚輕捷入水則不可獲

魚譜 卷之二 水三

Handwritten notes in vertical columns on the right page, including a small label at the top and several lines of cursive text.







男爵伊藤圭介先生自筆  
AUTOGRAPH OF  
BARON KEISUKE ITO.

其地漁人以長竿釣得之有巧拙其巧者多得之人影ヲ戸板或土乎ニ隠シテ其鱗ヲ擲ル時ハ魚飛付テ餌ヲ食フ  
手ノ如キ鱗ヲ方浅青色口唇尋常ノハセニ此スレハ至テ小ナリ有細齒其眼突出並付テ其間甚進シ漆ノ如ク黑色恰モ疣子ノ如シ顔容猴兒ノ如シ其性ノ輕黠ナル  
了七猴兒似タルユヘ福州府志ニ載之テ泥猴魚ト云一名彈塗又名跳魚三方圓會及寧波府志謂蘭胡ト云漳州府志謂之鮑魚性好テ跳ル因テ此名アリ肥前瑤浦及多佐賀ノ海濱又多產之方言謨紫ト云關東亦有之唯小而可三寸餘得其真物因之右者即是ナリ江都方言トヒセ又名メクラハセト云只大小差別アルノミ實ハ一物ナリ神田玄泉日東魚譜云其肝色黒多脂味美有于肝又瘍科取肝油以合于膏用能止痛消腫愈瘡之功勝于諸油云去ナカラ此魚稀々而不易得唐山ニ多ク有之三才園會云彈塗一名蘭胡形似小鯁短大者長三五寸潮退千百為群揚鬣跳擲塗中作穴而居以其彈跳千塗中故名

エニマ  
父ホハセノ  
エニマ  
エニマ  
仙居ノカシカノ一説

如クミルニ不耐肚ウツ  
モト黒クメ白キニ星点アリヒレノサキ  
カバイ口内ヒロク舌アリ燈火ノ如ク  
尖ラス〇如此形ヲナス釣ニカラスサテ  
ニテタマクスクヒテ得ルコアリ







魚言 考之

其地漁人以長竿釣得之有巧拙其巧者多得之人影ヲ戸板或土手ニテ隠シテ其縁ヲ擲ル時ハ魚罷付テ餌ヲ食フ  
手ノ如キ鱗ウラ方浅青色口唇尋常ノハセニ比スレハ至テ小ナリ有細齒其眼突出亞付テ其間甚也シ漆ノ如ク黒色恰モ疣子ノ如シ顔容猴兒ノ如シ其性ノ輕黠ナル  
了モ猴兒ニ似タルニハ福州府志ニ載之テ泥猴魚ト云一名彈塗又名跳魚三方圓會及津波府志謂蘭胡ト云漳州府志謂之鮑魚性好テ跳ル因テ此名アリ肥前瑠浦及佐賀ノ海濱又多云関東亦有之唯小而可三寸餘ハセト云只大小差

ハセノ異品スナフキノ一種山ハセ凡云ヘキ乎

小石川子コマタノ小溝流水中ニテ得ル

口ヲ開ケハ口濁シ其背ノ班紋黒ククチメニ

似タリ丸ヒレ肚上ニアリ頭上扁タキ

キミアリ眼ノ間ヒロク目小ナリ性鈍

ニメハ子跳ル稀ナリ細鱗アリハセノ

如クミルニ不耐肚ウス紫ナリ背ヒレノ

モト黒クメ白キニ星点アリヒレノサキ

カハイロ口内ヒロク舌アリ燈火ノ如ク

尖ラスハ如此形ヲナス釣ニカラスサテ

ニテタマクスクヒテ得ルコトアリ



魚言 考之







魚譜 卷之  
カレカ  
ビシユイソ



カレカ

三四月ノ頃多クトルロヨリ竹串ヲサレ  
ツラヌク炙リ乾スモノ仙臺ヨリ来ル又江戸  
近クニテハ秋父中津川ノ上流ニ多ク産ス其鱗  
ニメ光リアリ頭コチニ似テ頂ウレ高ク色黒シ  
諸州山川ニ皆尽クアリ夏月石上ニ頭ヲ出シ  
啼ク古歌ニモヨメルモノコレナリト云右ノカレカ  
小ナル者コリト云  
三月ノ末ニ多ク浅瀬ニヨル仙臺ニテ砂ヲ押上ケテ  
浅キ所へ追上ケテ拾取ルヲゴリヲト云テナスコナリ  
細キ竹串ヘナツサレ通シテ乾テ方物トスルコナリ



魚譜

卷之

カレカ







アユカケ



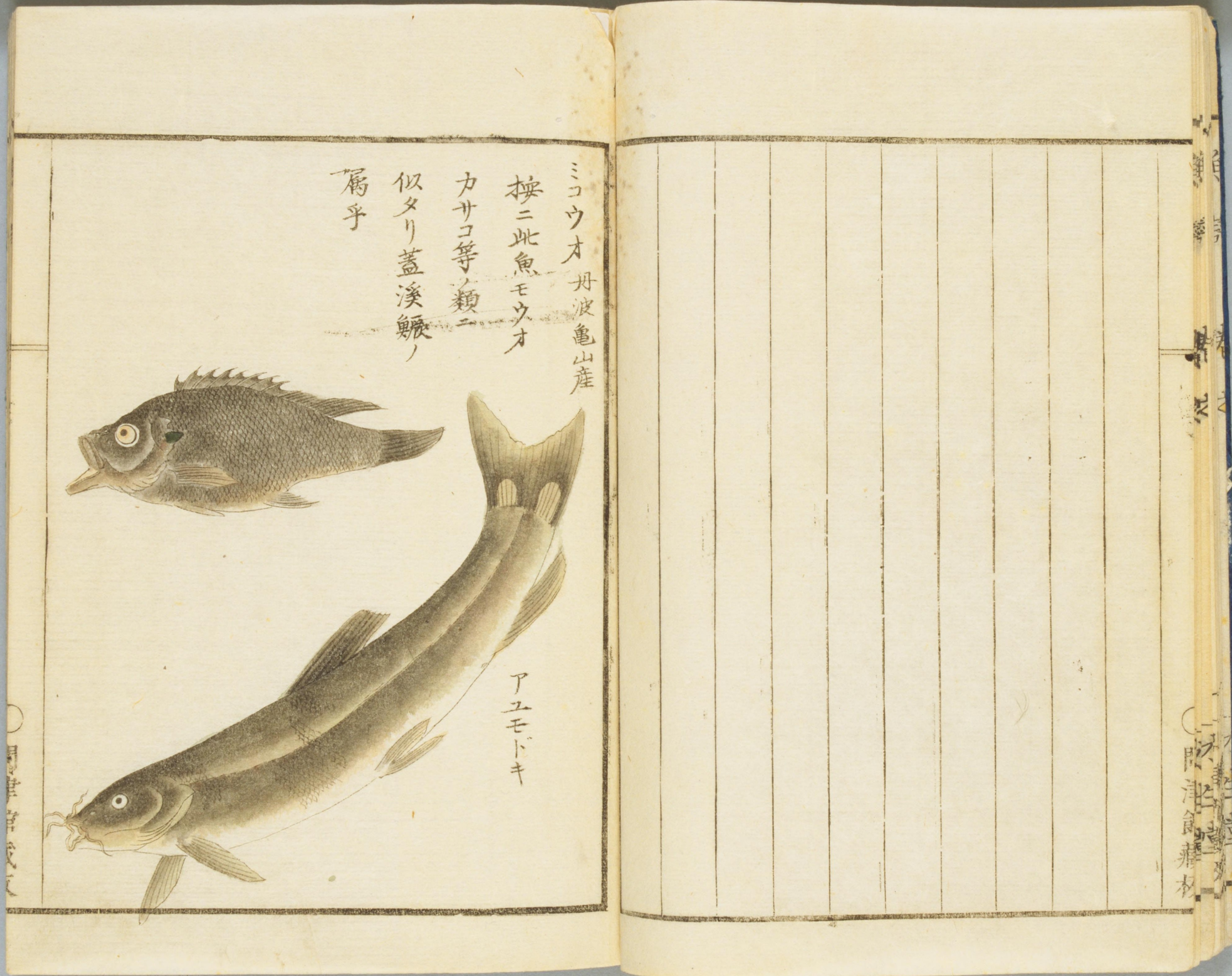
川石モチ

湖ハセ

魚譜 巻之 水産堂







ミノウオ 丹波亀山産

按ニ此魚モウオ

カサコ等ノ類ニ

似タリ蓋溪鯪ノ

属乎



アユモトキ







異魚圖纂

魚鱗百勢

異魚圖纂・勢海百鱗 1冊 寄別11-30 00-017

国立国会図書館







カマツカ 川ハゼ云ルヨシ真ノ鯊魚ニ充ルモノナリ 頭シヤクミテ口尖ル  
 段アリサイノ頭ニ似タリ目ノ間凹ク平ナリハラノヒレ肢ノ方ノ下ニ平ラニツク  
 他魚ト異ナリ波ヲムクレハ濁リテ所在ヲ失ス因テ沙ムクリト云味軽クハゼニ  
 似タリ小骨多シ皮上烏麻班アラクトアリ肩稜骨高シ下品ナル状ナリ  
 唇ヲ伸スレハ長ク出下ニ向フコレ又サイノ唇ニヨク似タリ因テ重唇ノ名アリ  
 已知七月朔日写仙臺方言カマツヒシ信州カマツカ此モノ沙中ニムクリ入六  
 得ルヲ難シ沙泥ノ濁リ定リテ静ニ伺ヘハ其目緑青色ニ光リアルヲ以テ此  
 魚ノ居処ヲ知ルト云ハラノヒレハ沙上ニ平ラニツキアリ 一体ノ形ハキスニ似タリ  
 班ハゼニ似タリハラノ平ナルコチニ似タリ頭状尖リテホソク粗鱗ニヒケアル  
 ハ又サイニ似タリ







川ハセ

伏見方言

砂スリ 京淀川  
伏見ニテ川ハセト云カマツカノ  
一種

鯉魚 カマツカ

ヤレンテン渡ニテトル方言スナムグリ 辛巳二月十五日

形キスニ似タリ京ノ加茂川ニテ川ギスト呼モ理アリ頭四角ニテ髭アリ

唇引ハ長ク出ルハサイニヨク似タリハラハ平ニメ破地ニヒタトツキ上ヘ浮

ムナシ

○鯉魚 龜山方言子カマ京ノ加茂川ニテ河ギスト云又カナクシリト云







魚譜  
卷六



六

魚譜  
卷六  
附  
津  
倉  
藏  
板

異魚図纂・勢海百鱗 1冊 寄別11-30 00-020

国立国会図書館







魚譜 卷之六

金魚 萬尾 上云  
今和ト云ラニチウ  
ハスタレタリ  
享保十六年  
十五歳ニ地取タ  
丸  
圖ノ写シ



魚譜 卷之六



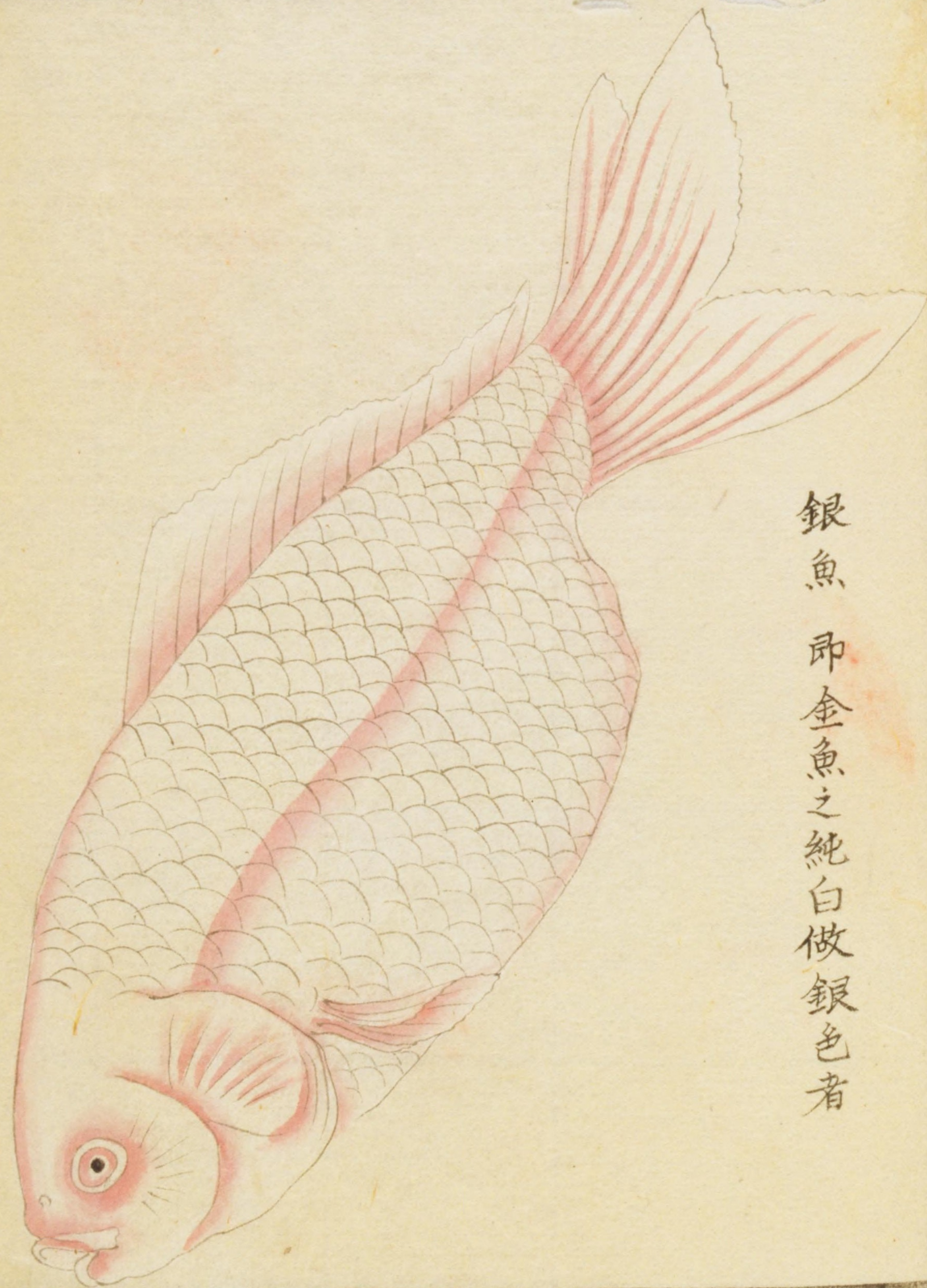
魚譜 卷之六







魚譜 卷之六



銀魚 即金魚之純白做銀色者

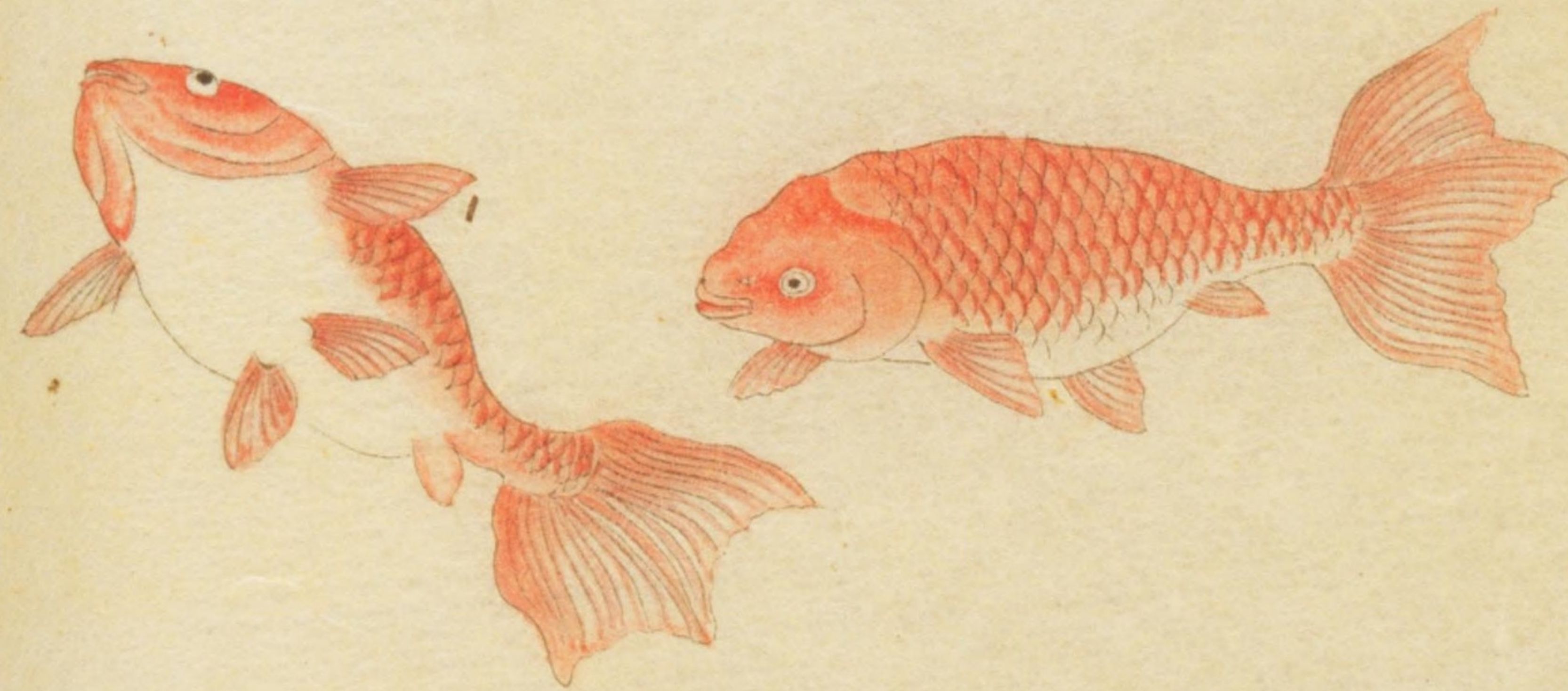
水三堂

魚譜 卷之六

金魚  
舊尾上云  
今知金魚  
之千石スモリ



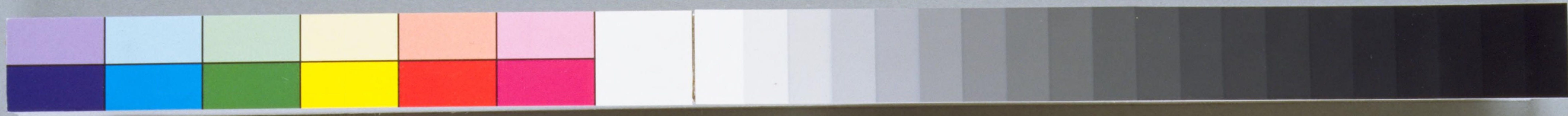
ランチウノ子  
寛延四辛未年  
六月九日地取  
タル写レト云



水三堂







魚譜  
卷之

水生堂



琉球金魚

魚譜  
卷之

水生堂



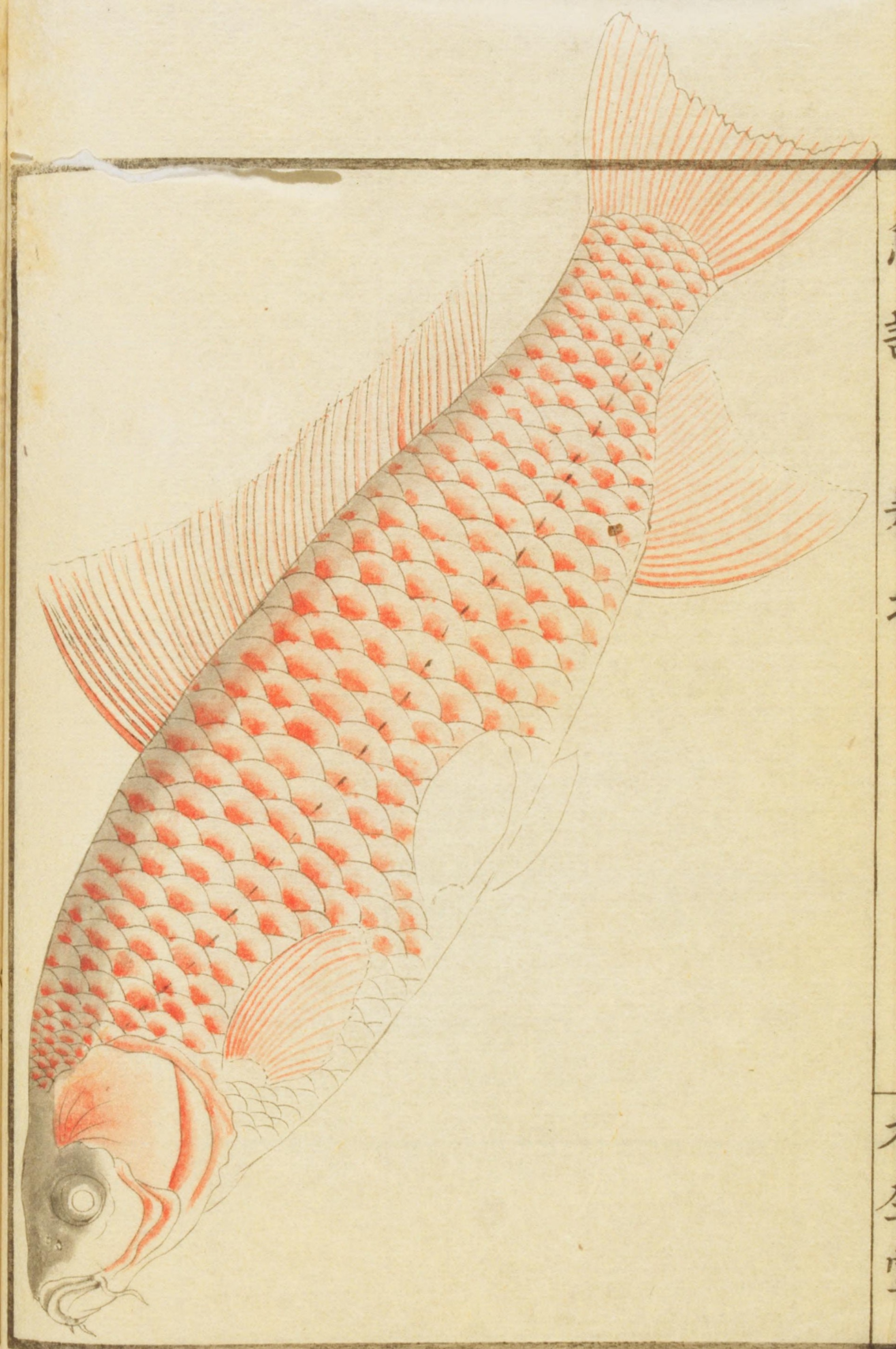




魚譜

卷二

水三



魚譜

水三

紅鯉

福州府志紅蓮

赤ベンセウ又云井カリサコ

水府産庚申閏四月下旬写之

今小石川後樂園池中ニアリ

イツノ頃ニヤ水戸ヨリ取寄

ラレタルモノト云





天明二寅年七月武州  
神奈川海中所得異魚  
長五寸餘無鱗而頭有  
角寸許有八脚如線條  
端有肉土人不知其名  
云



鯨志 附録

鯨志世間不類本ある夢の中不享保六辛丑年丹羽君佐  
若水先生の門下として庶  
物類纂器世巻と著せと云人南紀熊野古座浦不遊歴して漁長に  
きよりて主能取板多研究し一字一字を記し其家秘蔵せり同  
十三戌甲午去冬秋神田玄泉 日本魚譜の巻を著述しついで入予幼穉の時わら  
筆誌しとる及家蔵の本ありて校正せる一巻ありてある詳  
密也予幼穉の時みつゝ筆誌しとるを及古好うちより兄  
出しとるを不類と輯録せるハさふあるは鯨の類に鯨の  
形違ふ流魚をり未事其不究時代友今其骨ハ一尺あり及  
まんとしと母より示すに兄は一尺の巨魚也今其骨画  
はあり流魚産学談好するを及古好うちより一巻を記  
を考ふる也



魚譜 卷之

丁保壬辰季夏 七十七翁瑞仙沈法平丹海淡

本年孟冬念一日表裝

赤目鳥 此名出于閩書

メナタ 江戸 酉八月五日 シク子 朱ク子 卷 食鏡 共云加州方言

アカメ防州 トウナイト云 メナス 志州 ヒク子 備后 シク子

ホラ 京師 魚兒ヲメアカト云

メナダハ東都近江ニ多シ其長サ大抵二三尺極テ老大ノモノ四五尺ニ至ル者アリ形鰻魚ニ似テ頭扁濶ニ粗大イ鱗アリ眼唇俱赤ニヨリテアカメシク子ノ俗稱アリ背ヨリ觀レハ青緑色ニメ美觀ナリ鰭ハ形ニ較レハ小サシ然レ共猛力アリ一撓スレハ能綱ヲ破テ逃去ルト云味鰻勝レリ鯉ニ似テ脂カレ共泥氣ナク淡美也眼ハ口ニ近ク唇ヲ牽伸セ長ク出ル<sup>ハ</sup>白魚又<sup>ハ</sup>鯊魚ノ如シ鯉モ又如此ナリ又口中ニ齒牙ナキト膽大ニメアリ俚ニ鯉ニ似タリ腮ノ兩傍ニ厚骨アリ潔白酒蓋ノ如シ是他魚ニナキ処ナリ昌滅燿梅ルニ此モノ音魚ナルヘキ歟何ヲ以テコレヲ知ルナレ

魚譜 卷之 一水主堂 說







ハ背ヨリ觀レハ正青色其澄一ナリ其頭中枕骨蒸令氣通曝乾狀如  
 琥珀荆楚人煮拍作酒器梳篦甚佳ト云々西脰有骨如小蓋又有鮓  
 石二個ハ此ヲ云ナリ他魚ノ如ク白石ノ兩個アルニ非ス其證二也其膽大  
 鯉ニ異其澄三也時珍曰大者名鱧魚此魚老大者至四五尺其澄四也鮓  
 魚集解時珍說云此物生東海狀如青魚ト云其澄五也嘗テ河南通志  
 云青魚出濟源形似鯉而背青色トアリ正字通云青魚形似鮓青色  
 食蛤蚌雜魚俗呼烏鰮南人以作鮓ト見ヘタリ以上ノ諸說ヲ照シ合テ  
 考レハ何レ大魚ニメ今所謂ニシシヲ稱テ云又云東醫寶鑑云青魚形似鯉  
 長尺ト云ハニシシカトテ指テ云又云是非我國之青魚也ト云ハ渠國素  
 ヲリ青魚ト稱スルモノアリ直ニ此メナクナルベシ野必大野著ノ本朝食鏡  
 云或曰女那太魚者此華之青魚也鮓骨如琥珀狀大味美可謂五候之  
 鮓者乎近寓肥之長崎遇華商四五輩以問青魚之狀詳聞其說則本  
 邦之米那太全似之時珍謂鮓狀如青魚恐是米那太者華之青魚矣  
 予未研究之他日可證也又聞華客語曰五候鮓甚大北京希有故自南  
 京之近海貢獻之捕大魚置水中用繩緊縛魚之首尾而總結其繩尾  
 總結處上着大銀環環中貫繩懸舷去則經過萬里竟不死生獻于御  
 厨也南產所謂青貫略似本邦之鮓焉采摭切音鮓魚類又正字通鮓字下  
 宋淳化三年京師里巷婦女裝鱧魚鮓中骨號魚媚子以飾面或曰魚  
 水族陰類面為六陽之首陰侵陽將有災明年秋冬積雨旬旬衢路水  
 深數尺民被其害鮓通作腮

揚升菴外集云江有青魚頭中枕骨其色正青枕骨如琥珀可以作籠燈  
 正字通青魚形似鮓青色食蛤蚌雜魚此蛤蚌雜魚等ヲ食フト云果メ  
 大魚ナリ鯉モ大ナルハ蜆蛤等ヲ食フモノヲミルコレモ又サバ及ニシシ等ノ及  
 フ処ニアラスコレモ又一證トスベキナリ野必大既ニメナクハ青魚ナルベシト

魚譜

卷之二

說

水三







魚譜

卷之

九生堂

疑ヒテ説ヲナス尚參攷スベシ文政己卯年五月

栗瑞見園在説

異魚名不知大洲候藏圖西六月  
二日堅田候ヨリ此 圖未ル

此魚福岡海ヨリ  
上ル左右ノヒレノ  
如キモノ手ニナリ上唇ヨリ  
出ルモノ氣カヨヒテ動ク



異魚図纂







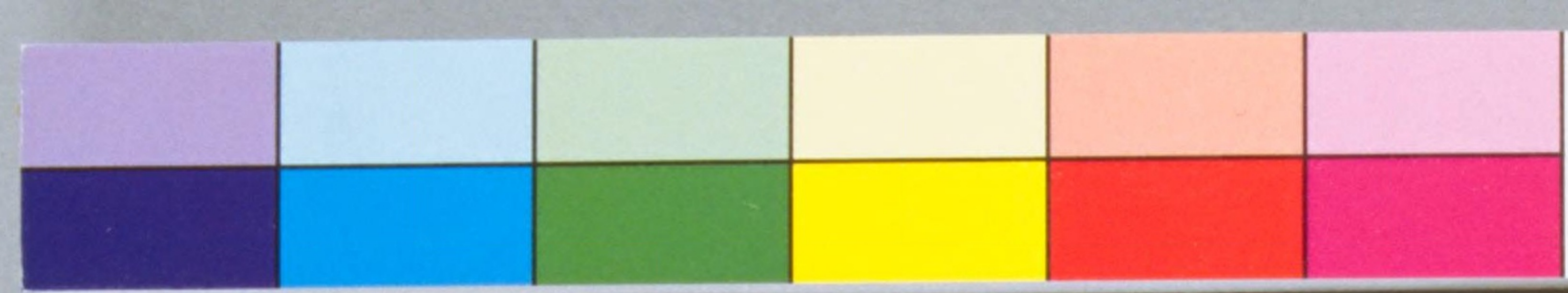
○ 門洋館藏

○ 此類ニラウニベト云モノアリ其鱗魚ナリ形鯰魚ニ似テ色赤シ牙二重  
ニ生ス形大豆ニ似テ丸ク白ク堅硬ニメ美質玉石ノ如シ因テ夷人此牙  
ヲトリ婦人ノ首ニアケテ飾トスト東上徳内語りキ

○ 門洋館藏







魚譜 卷之二 水三堂



此魚肥前唐津ノ産ナリ土人養置キ玩觀ス常ニ小魚ヲ食フ水多キ時ハ  
 四鬣ニテ泳キ又水少キ所ニ至レハ四足トナシテ自由スト云ヘリ  
 今按ルニ蟾蜍並ニ鼃ノ類濱邊ノ波寺際ヘ出テ往々ニ魚ノ鬣ヲ生シテ忽ニ  
 形変メ終ニ六魚トナリ是タルヲ見ル佐州ニテ俗蛙<sup>アヘン</sup>変魚ト云トナリ是蛙ヨリ  
 魚ニ変スル物ナリ又此圖ヲ見レハ魚ヨリ蛙ニ化スル物ナラン乎造化ノ妙測ル  
 べカラス

魚譜 卷之二







魚言  
精之

大生堂

右二魚



ガオコセノ異品 口至テ潤大細齒アリ 遍身滑ニメ皮ヲムキタル肌ニミユレ  
 凡手ニ觸ルニ遍身滑ニメ皮ヲムキタル肌膚ノ如シ皮タルミヒレニモ肉多  
 クメアソコウノ如シ凡テヒレノサキイラくト毛出ルヤウナレ共手ニテ觸レ  
 ハ極テ柔軟ナリ心下ノヒレ猫尻ノ手ノ如シメコレ又柔ナリ眼極テ小ナリ  
 ヨクク尋子テ知ル眼暗ハ肉ニツキ上ニ皮カリテ地ノ肉ニツカス皮アチコチ  
 ヘヨスルニ自由ニイツカタヘナリ凡ヨルモノナリ又異物ナリ背上ノ二角ニ黄  
 モアリ柔軟ナリ身上ノ黄点並腹下ヨリ肢ヘカケ白点ヲカタ疣子如ク  
 サキヒラくト紙捻ノ如クニ出ヒレノサキ筋ハ外ニ出銀イロニ透トナル  
 至テ軟ナリ遍身細砂アレ共柱ルニ滑ニメ糙淡ナラズ皮肉スキトオル  
 毛杏鯨鯨ニ似タリ

明徳堂







文政三庚辰年七月四日参政堀田侯ヨリ鑑定ヲ乞ハル昨日ハ活存  
タルヲ獲テ圖取タルヨシ云贈ラレタリ昨日夕方殞タリ炎熱ノ時ニハ腸  
ヲ忖リテミセラレタリ私按スルニコレ海蝦蟇ノ一種ナルヘキ由返答ス

月津會藏

月津會藏





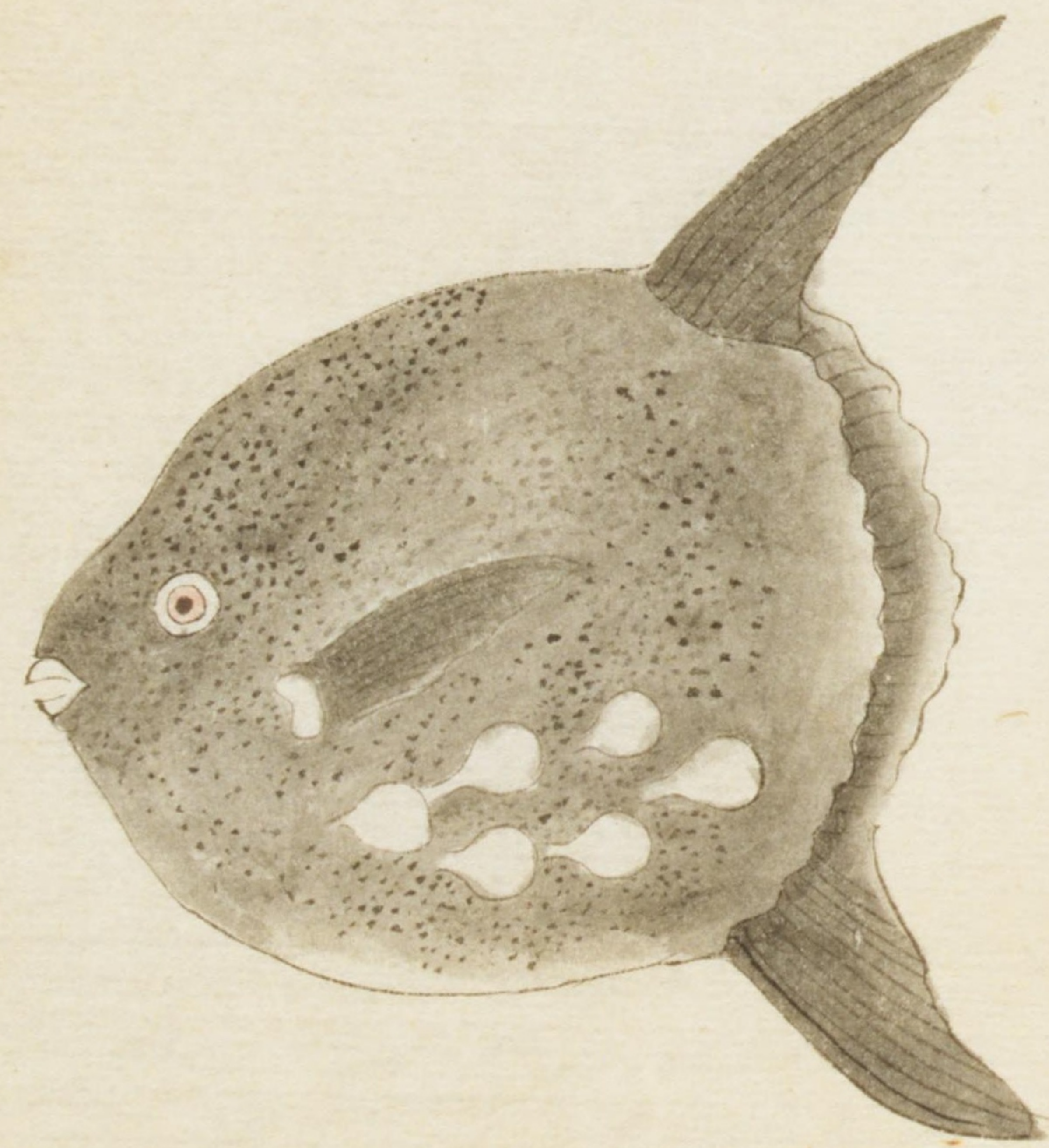
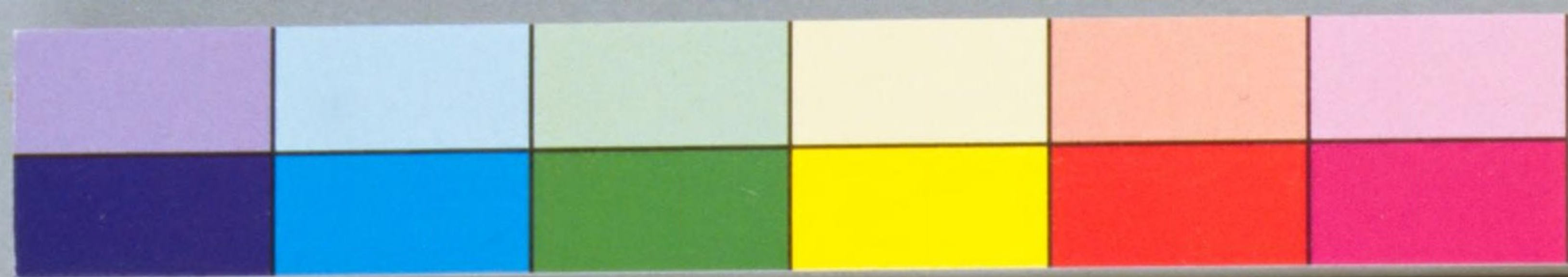
寛政九丁巳年閏七月十五日佐州海中ヨリ上リタル異魚圖ノ如シ此魚  
 稀ニ獲テアリ何魚ノ類歟分明ナラス尤モ方音モナシ老漁ニ就テ問ニ偶見  
 覺ヘタルノミ稱呼ヲ不知ヨシテ云此子ツミ色ノ処純黑色ノモノアリ又白鱗ニ  
 ノ黒班点アルモノモアリト云ヘリ物身細砂アリテカハギノ如シ去ナカラ  
 皮タルミテツマミ上ハ柔靱ニ一所ニ聚ルモノナリ皮ハギノ堅硬ナルトハ廻ニ  
 異ナリ其眼至テ小クヨク見レハアリ奇物ト謂ツヘシ眼邊ノ皮アチコチヘ  
 動テ眼胞へ着ス目ノ至テ薄皮丸ク窓ノ如クアキテ丁度目ノ処ニアタル先  
 ハアシカフノ屬カマオコセナトノ類ナルベシ

門洋館藏

門洋館藏



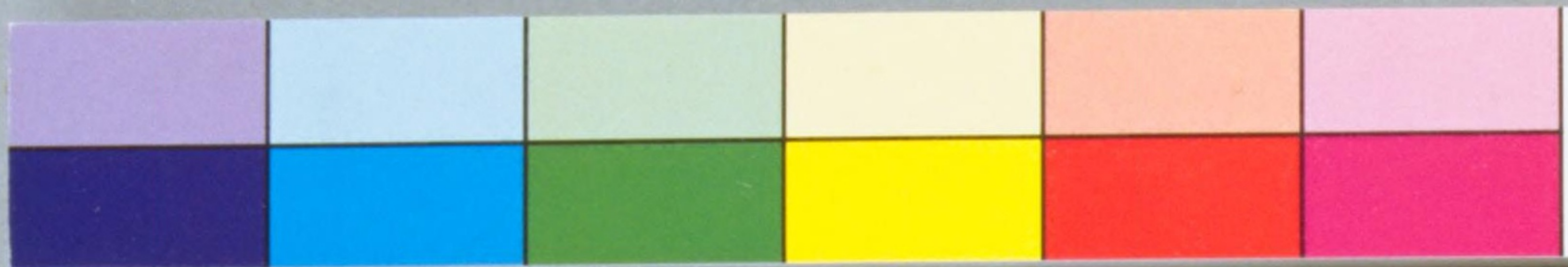




寛政九丁巳年閏七月十五日佐州海中ヨリ異魚ヲ獲前圖ノ如シ  
 眼至テ小クヨク見レハアリ稀ニ得ルヲアリ何魚ノ類歟不分明名不知  
 子ツミイロノ処色黒キモアリ白点ハカハギノ如ク砂アリヲサメノ如シ然レ  
 皮上滑澤ニテ撫レテ手ニサワラスカハギノ皮上堅ク糙波ナルニ異ナリ腋下  
 ヒレノサキ猫兒手状ノ如ク尾ヒレノサキニ白キ軟毛アリ







月世書院

水戸萬寶圖

大者四五丈小者六七尺全身硬皮有洩子而似鮫魚皮其腹左右各有  
白圈点六箇状恰如團扇形五月已後七月已前有之漂浮于海上能  
熟睡為漁人所獲其皮可飾刀鞘其腸可供藥餌其名烏紀々脊骨堅  
硬其他盡軟以梅醬浸食可當下酒

月世書院



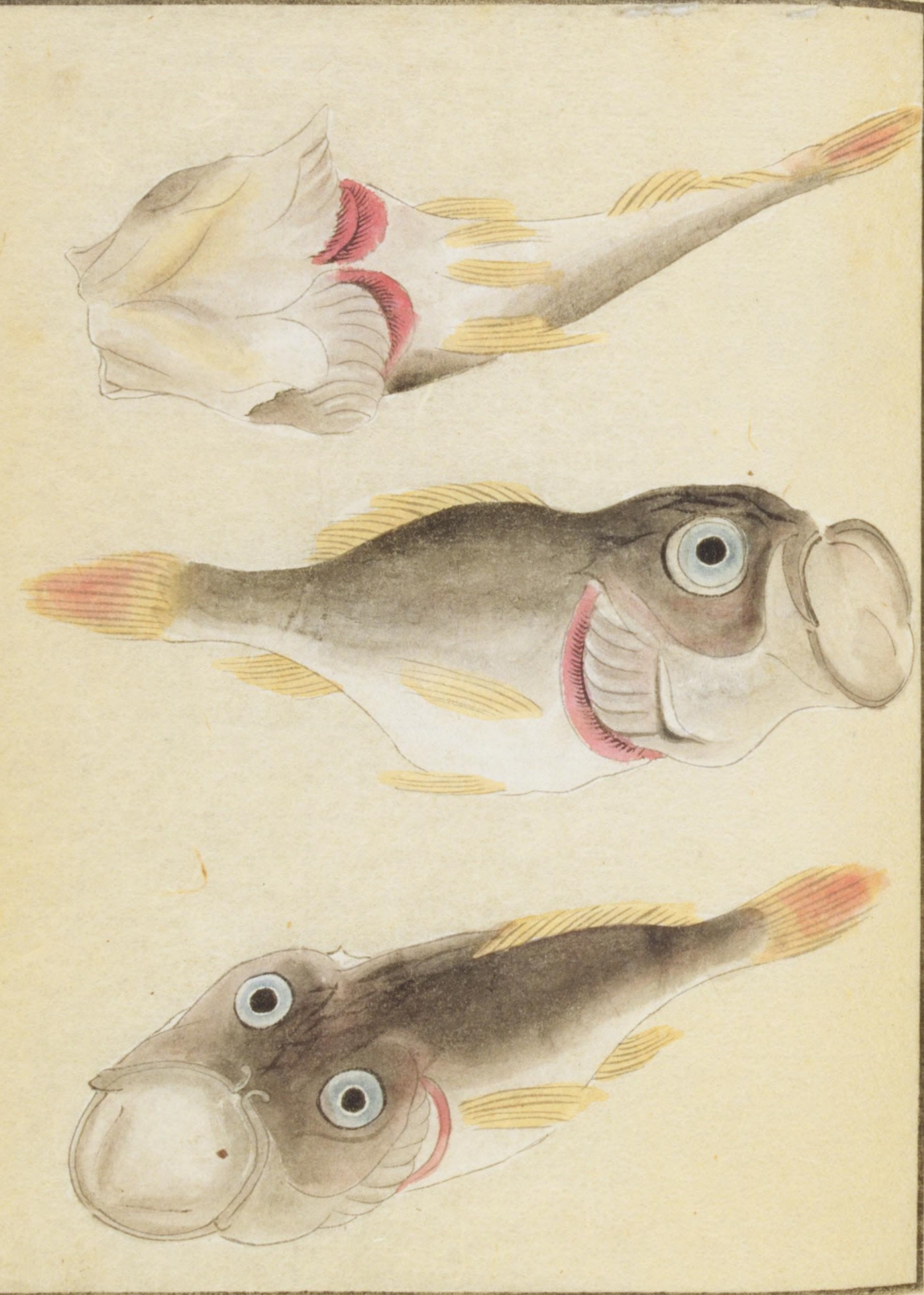




魚譜

卷之二

水三



岩城萬寶圖

藍水翁曰滿房魚產于常陸州岩城大洋中大者長數十丈小者可五六尺其乾肺者俗呼烏紀々主治治五癆七傷肌肉羸瘦一切癰疽生好肉兼治產前後血暈赤白帶下及久泄利通乳汁下五淋

津金藏板







魚譜 卷二 水三堂

メアジ  
霜月十二日写之  
目大ニメ總身金色  
ノ光アリ肉肥美ナリ



魚譜 卷二 水三堂





ヒレコ 小田原ニテカタクテ乾テ  
 田作りゴマメト称シク出シ  
 民ノ益ニナルモノ也俗ニ鯉ノ字ヲ以テ  
 普ク通用ス其口鰓トハ大ニ異  
 ナリ此モノ、唇ハ闊ケハ大キク  
 アクモノナリイワレノ口ハ上唇ニ雲母ノ  
 如キウスク覆フモノアリテ下唇ハ其中ニ  
 収マリ口小クトニ向フニレンノ口ト同様  
 ナリコレヲ以テ老犬ニナリタリトテ  
 鰓ニナルニ非ス全ク別物ナリ

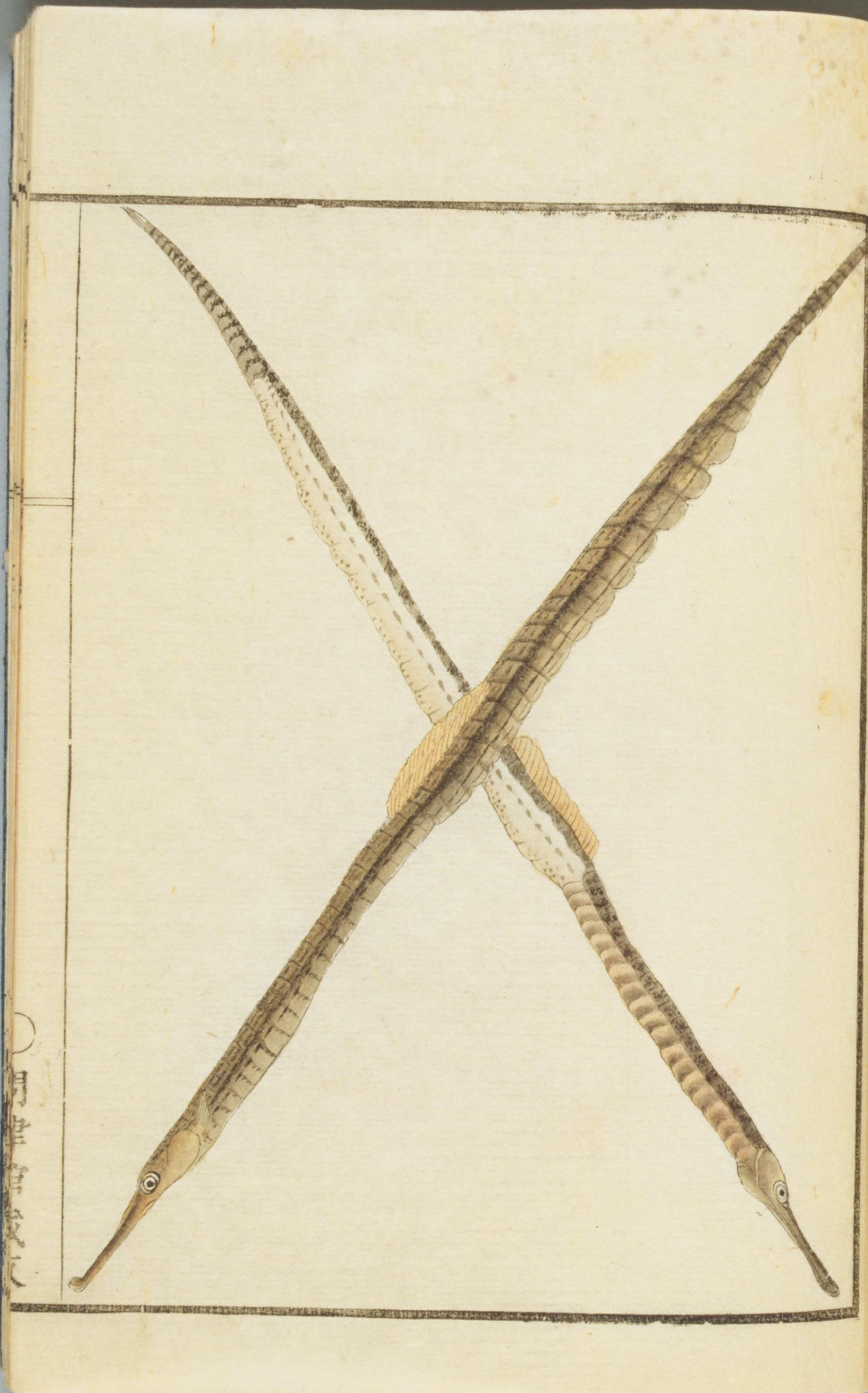


纏綿魚 俗和イトウホ 蝦夷 口コム

魯西亜バカリチイ越中方言ハリウホ  
 此魚越後州高田糸魚川ニ産ス末他  
 州ヨリ産スルヲア聞ズ形番魚ニ似テ  
 短ク扁ク肉女シ其脊ヒレ兩刺アリ  
 タミテ脊孔ニ入レハ刺ナキカ如シ  
 挑起セハ出ル肚下ノ兩刺アリタミテ  
 亦然リ横闊ケハ圓ノ如ク出常ハタ  
 ミテ一刺タテニナリテアリ横腹白鱗タテニ  
 層ヲナシ糸ニテ纏縛スルニ似タリ故ニ糸魚ノ  
 名アリ腮ニ近キ処大鱗二甲アリ銀色ヲナス  
 其氏煮食フ味美ナラス肉女ク骨刺多ク啖フニ耐ズ







魚  
 言  
 者  
 之  
 ニヤチホコ俗間ニ乾テ弄物トス筑紫  
 三ツヒサイト云東都ニテミノカサコト  
 云モノ、一種小ナル者ニメ形モ異ナリ  
 大サ此通り全体真紅色ニメ黒條漆  
 ナスカ如ク美ナリ吻ニ髭アリ両方ニ  
 テ四本目ノ上ノ高キ骨ノ上ニ髭二本  
 アリ







海蛆一種大者西国ニテ楊枝魚ト云東都ニテ海へヒト云小者ヲタ、

ニハリト云矧直ニノ不鞞身ニ楞アリテ四角ナリ但シタニニハリハ紀及ノ方言ナリ

享和元辛酉ノ六月廿日海鯧ノ内ニ雜來ル其腹下潤テ溝ノ形ヲナス

此処平タクシテ腸ナシ竹木ナドへ腹ニテ吸着テアル欤如此ナルハ初テ見

タリ按スルニ數種アリ小ニ青黒色細キ黒点アリ腹下実メヒハ茶色ノ

モノアリ又黒色ニメ形短ク横ハラ赤キ條紋アルモノアリ一躰ノ形脊一道

高ク凸字ノ状モノアリ

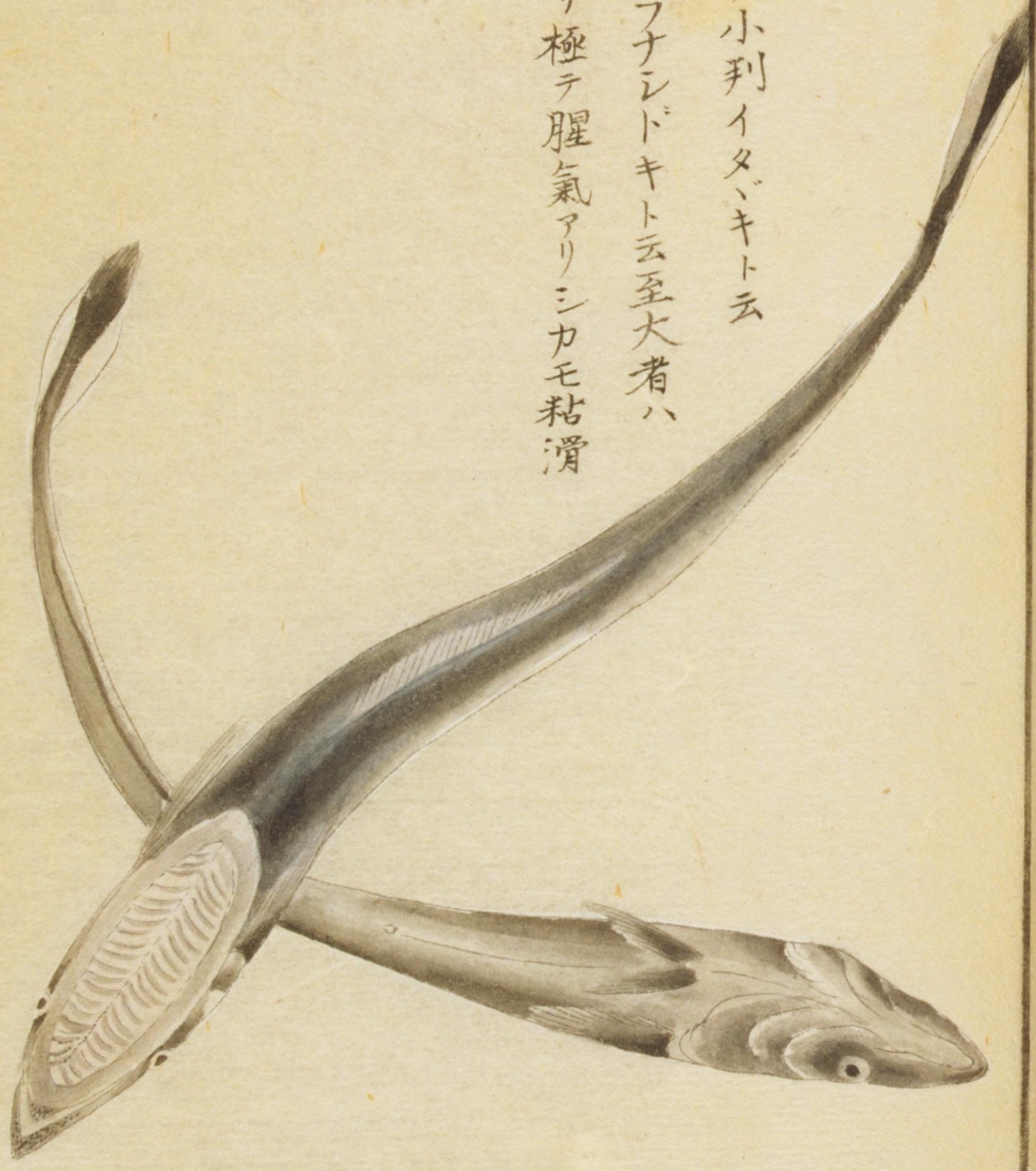
小判鮫

越中ニテ小判イタキト云

筑前ニテフナシドキト云至大者ハ

二三尺アリ極テ腥氣アリシカモ粘滑

甚シ



魚譜 卷之二 水産





此魚性喜シテ頭上ノ印ノ如キ処ニテ物ニ吸着テハナレス大者ハヨク船底着テ  
 動カサズ舟ニアヤカレノ付キタル云ハ是ナリ因テ此魚ヲアヤカレヒ云ルヨシ  
 假令死シテモ頭上ノ平ナルモノ、上ニ着ケ尾ヲ引立レハ板スイツキ離レズモチ  
 上ルモノナリ是他魚ト異ナリ水府漁人ハ履鮫ト云頭上草鞋ノ状アル故ニ  
 此名ヲ得又大魚ヲ獲ル前ニ此魚先得ラル、トアリ大魚ノ先驅ナリトテ神  
 棚ニ上ケ供祭ス是ニ因テ漁人告ノ神ノ甚四郎ト云太平御覽引臨海異  
 物志有印魚即是也大魚將死印魚先封之ト云ト符合ス此魚大魚口邊  
 ニアリテ他ノ食ヲ止テ餓サシムル故ニ遂ニ人ノ為ニ得ラルトナリ利瑪竇坤  
 輿全圖云咽機那魚生海中好粘着船底不動ト亦此物ナリ

鏡ウオ

至テ遍ク板ノ如シ銀色ニメ  
 キチニ似タリ肚下ニ白絲  
 五條アリ糸引魚ニ似テ  
 糸短シ肚下糸ナキヲ  
 カイワレト云ト何國ノ  
 方言ナルヤ不審



魚譜 卷之二 大 三







勢海百鱗

完



紀伊黄門公ヨリ享和二壬戌  
ノ秋御國許リヨリ此圖ヲ以テ  
鑒訂スヘキヨシヲ云贈ラル予未  
見サル処其名モ不知ヨシヲ答フ



魚譜 卷之

才生堂

